

EU法Ⅰ

科目ナンバリング PUL-305

選択必修 2単位

渡邊 啓貴

1. 授業の概要(ねらい)

ヨーロッパ統合の歴史・理論について検討する。統合を国民国家の発展の中で捉え、危機時の「国境を越えたリストラ」と解釈する。新しい統合の理解の仕方について学生にも問いを投げるが、ディスカッションや討論といった形で学生にも反応してもらう。

2. 授業の到達目標

国際社会の中でのヨーロッパ統合の理論と歴史、その仕組みや意義について習得する

3. 成績評価の方法および基準

試験(60%)・出席(40%)で評価する

4. 教科書・参考文献

教科書

渡邊啓貴編著 ヨーロッパ国際関係史 有斐閣

5. 準備学修の内容

日ごろから欧州の動向について新聞・雑誌記事、関連文献などでカバーしておくこと。

6. その他履修上の注意事項

パワーポイントを使うが自分自身のノートを作ることが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 地域統合とは何か---国民国家の概念と克服
- 【第2回】 欧州統合の歴史1 前近代的統合---ローマ帝国/中世キリスト教世界/絶対王政期
- 【第3回】 欧州統合の歴史2 19世紀資本主義の発達と帝国主義時代
- 【第4回】 欧州統合の歴史3 第一次世界大戦後のプリアンの欧州合衆国提案/マーシャルプラン
- 【第5回】 欧州統合の歴史4 第二次世界大戦後の欧州統合 ECSC・EEC・EURATOM
- 【第6回】 統合の理論1 経済統合の理論
- 【第7回】 統合の理論2 新機能主義/国境を越えたリストラとデモクラシーの理論
- 【第8回】 EEC共通関税政策・共通農業政策
- 【第9回】 1970年代通貨統合の試みとユーロバシズム/域内市場統合
- 【第10回】 マーストリヒト(EU)条約と共通通貨導入
- 【第11回】 ユーロ危機から経済同盟の発展
- 【第12回】 政治統合の歴史① EDC構想の挫折とフーシェプラン
- 【第13回】 政治統合の歴史② ESDP(欧州安全保障防衛政策)からCFSP(共通外交安全保障政策)へ
- 【第14回】 EU統合の現在---BREXIT/PESCO(常設防衛機構)/コロナ禍後の欧州
- 【第15回】 期末テスト